

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	戸田市立新曽保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	塩原 寿子	定員(利用人数)：	116 名
所在地：	〒 335-0021 埼玉県戸田市新曽1835-1	TEL	048-442-3100

③評価実施期間

令和4年6月8日（契約日）～令和5年3月28日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

1. 自然に恵まれ、生き物や植物など子どもの年齢に合わせた活動を堪能しています。

当園では、どのクラスの子どもの外遊びが大好きだと考え、散歩の機会を多く設けています。春先から散歩を継続している過程で、1・2歳児は散歩などで青虫を発見し、絵本でその孵化や幼虫から成虫への成長を理解し、実体験と結び付けています。3歳児は身近な植物の成長に興味を持ち、その名前を調べ、出かける先の散歩マップに草花を記入して確認しています。4歳児ではカナヘビを発見し、その飼育方法などを保護者と一緒に図鑑などで調べ、関心の広がりが見られるよう活動を行っています。5歳児では周りの自然に関する知識の習得などに関心を持ち、生き物や植物がどうやったらできるのかなどを調べ、そこから発展して染物への関心を膨らませています。保育士は、子どもに声をかけて散歩での周りの草花を手取るなどの体験をさせ、自然への興味、関心へと導きだしています。

2. 子どもの園での生活や遊んでいる姿を、家庭に伝わるよう掲示物を工夫して紹介しています。

当園では、子どもの様子を連絡帳やクラスだよりのほか様々な取り組みを通して保護者に発信しています。全職員が運動、健康などの検討委員会に参加し、確認、実践の内容の紹介があり、子どもと取り組む姿を掲示しています。例えば、運動面では走る・くぐる・跳ぶ・渡る・投げるなどを組み合わせるサーキットを行っています。全クラスで子どもの身体操作を念頭に計画され、遊びの拡大があります。子どもの写真と年齢に応じた運動の大切さをボードに記載して紹介しています。また、健康面では、健康保健に関する情報などを子どもにも分かりやすいよう、紙芝居や絵本を通して伝えています。その他、保護者の協力を得て「早寝早起き」に関するアンケートを実施し、集計結果や子どもの年齢に見合った睡眠と生活習慣の大切さに関する情報を掲示しています。さらに、掲示物への家庭の参画が随所に見られ、保護者の関心度を高める工夫がされています。加えて、これらの取り組みは、子どもの成長の姿と保育士の対応を知る機会になっています。

3. 園での食育への取り組みが子どもの体験を広げ、家庭との一体的な食育に繋がっています。

季節ごとの献立、地産の野菜、郷土料理、リクエスト料理などを食育に取り組んでいます。加えて、廊下に食育コーナーが設置されています。例えば、「もぐもぐボード」「サンプルボード」などがあり、子どもの姿と保護者からの声である「我が家の食育」「レシピを教えて」などが紹介されています。「もぐもぐボード」には季節ごとの献立の中で、この時期にどんな野菜があり、どんな料理があるのかなど「料理クイズ」もあり、保護者を巻き込んだ参加型の内容になっています。これらの情報から園での給食が家庭にも広がり、様々な食材と料理などへと発展し、子どもとの関わりが保育園だけではなく親子の食育に繋がっている様子がうかがえます。

◇特にコメントを要する点

1. 当園が描く職員のキャリアパスの明示が待たれます。

当園では、市が定めた「第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画」に沿って保育の全体計画や行事計画、職員の研修計画などを策定しています。また、人事評価における仕組みとして年数回の面談を設定おり、職員の目標到達の度合いの確認や意欲向上を図っています。市として職員に求める職務遂行能力を定めて水準も定めています。しかし、これらの取り組みのゴール指針ともいえる保育士職員としての望む人材像とキャリアパスの策定に至っていません。キャリアパスの策定と種々の取組みの連動から、職員個々の育成による保育サービスの質の向上が求められます。

2. 更なるサービスの質の向上のため、振り返りの仕組みを整備し組織的に改善に繋げていくことが期待されます。

当園では、より良い保育ができるように保育園としての自己評価を実施しています。自己評価の結果は保護者にも共有できるように、園内に掲示しています。また、保護者からの要望やアクションカードに寄せられた意見については、職員会議で周知して改善策を検討しています。加えて、改善策等の回答を記載して掲示をしています。組織的な改善体制を構築するため、改善結果を振り返る機会や手順などを整備されてはいかがでしょうか。過去2、3年分の改善活動を振り返ることで、自己評価や要望への対応が徹底されているかを確認することができます。振り返りの仕組みを整備し、改善プロセスの安定に繋げることが期待されます。

3. 当園から保護者への新たな情報発信方法の検討が待たれます。

コロナ禍において、保育所では保護者に保育の様子が伝わるよう、送迎時の声掛けや園だよりの改善等様々な方法で保護者とコミュニケーションを取り、子どもの普段の様子を伝えています。また、散歩の様子などを動画投稿サイトに掲載して、保育内容の見える化に取り組んでいます。しかし、今回の保護者アンケートに保育活動がもっと見えるようにしてほしいとの意見が複数ありました。当園の状況をより効果的に発信していくため、SNSや保育所向けのインターネットツールを活用するなど、新たな情報発信方法の検討が行われるよう期待します。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受審し、保育園運営や保育内容について、専門的視点から客観的に評価していただき、ありがとうございました。受審にあたり、職員全体で運営や保育について振り返り、見直しや改善を行うことができました。子どもにとっての最善の利益や運営や取り組みについての発信の仕方、保護者の要望や思いをどう汲み取るか等、様々な方面から考えることができました。保護者アンケートからは、保育園に満足している等の温かいご意見も沢山いただき、大変励みになりました。改善が必要なご意見については、真摯に受け止め見直していきたいと思えます。訪問調査の際には、保育園の良い点も評価していただき、また改善に必要なご提案もいただけたので、それを基に、関係機関とも連携しながらより良い保育園づくりに取り組んでいきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり